

# カーコンカーリースもろコミ



ご契約期間中のガソリン代

毎月最大 2,000円 キャッシュバックキャンペーン

※「もろコミ」でご契約頂いたお車に給油したガソリン代を、カーコンビニ倶楽部(株)が、リース全期間中1リットルあたり20円、毎月100リットルを上限に補助(最大2000円)いたします。本サービス内容は予告なく終了する場合がございます。詳しくはもろコミHPでご確認ください。

## 「私は、一日266円で

(※)



=



+



+



+



※9年カーリースの場合 ボーナス月加算あり

## 車に乗ってます」

※266円は、ボーナス月加算額を含んでおりません

カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル  
☎0120-0120-55 もろコミ 検索



**林 成治** Seiji Hayashi  
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業  
1981年4月:プロミス株式会社入社  
2008年4月:同社執行役員就任  
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任  
2008年10月:同社代表取締役就任  
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任  
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任  
2011年1月:同社取締役退任  
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任

市場で、運転データを生かして、事故を起こす可能性の低いドライバーに向けた割安な商品の開発が進んでいる。この保険分野も、欧米が先行しており、中国も急速に保険商品の多様化が進んでいる。日本では、今年中に本格化する予定である。

さて、世界の保険加入件数は、現在3170万件となっているが、昨年比50%アップという驚異的な伸び率である。つながる車をどうカーコンビニ倶楽部がつけていくか、これは将来のカーコンビニ倶楽部にとって、大きなチャンスである。例えば、保険会社とタイアップした事故車の査定や、自動車システムで高齢者の生活を補助したり、さらには、つながる車の部品などのバージョンアップなど、現在のビジネスの延長線上に数千億円の市場が広がっている。

しかし、一番大切なのは、新しい時代に立ち向かい、対応するためには、車ではなく、人がつながることなのである。

トランプ大統領の登場で、難題が様々突きつけられている日本政府だが、今年に入りついに貿易摩擦を背景にした彼の保護主義に、頭を痛めていると思う。

2017年度の国内新車販売台数は、約520万台。2年連続で500万台を超えた。中でも、軽自動車4年ぶりにプラスに転じたのが大きい。ホンダの「N-BOX」など、車高が高く、居住性のよいモデルが絶好調だ。カーコンビニ倶楽部のもろコミキャンペーンも、我が国の軽自動車の販売には、大きく寄与していると思う。

さて、調査会社の富士経済は、コネクテッドカー(つながる車)の世界販売台数が、2035年に1億1千万台になるとの予想を発表した。なんと、新車の96%がコネクテッドカーとなり、2017年から毎年4倍以上の成長率となる。収集したデータを生かした自動車保険やスマホの端末機能を強化した自動運転を入れると、今の市場の十数倍になるのにつながる車である。

コネクテッドカーは、通信端末を車両に標準搭載した「エンベデッド型」が全体の48%を占める。市場は先行している北米・欧州から、急速に中国でも拡大し、その影響もあり、価格帯の低い大衆車への標準搭載も進んでいる。つながる車の普及で、同時に数々の新しいサービスも誕生している。特に有望なのは、自動車保険

『つながる車の未来』